

秋は受験勉強もいよいよ本格化。子どもの志望校は、後悔のない選択をしたいですね。「わが子に合った学校選びは?」「志望校ここで良いの?」と不安になる保護者も多いのではないのでしょうか。「個別指導キャンパス」では長年の教育現場で培ったノウハウを生かし、子どもの意欲を高めて成績アップ・志望校合格に導いています。代表の福盛訓之さんに、志望校の選び方についてお聞きました。

# 志望校の 選び方

個別指導キャンパス 代表・福盛訓之さん

お問い合わせ先: (0120) 934830



「生徒一人一人に合わせたオーダーメイドカリキュラムを作成し、集中的に強化します」と話す福盛代表

## 高校受験編

### — 志望校選びのポイント

志望校を決めるポイントは2つあります。「お子様が行きたいと思うかどうか」と「合格できる学力があるかどうか」です。特に高校受験の場合、学力は最後の最後まで伸びますので、学力で1つに絞るのは最後で大丈夫です。そのため、まずは「お子様が行きたいと思うかどうか」で探し始めると良いでしょう。

— 志望校はいくつくらいが良いのでしょうか

第1〜3志望と1つずつ決めるのではなく、お子様が行きたいと思う学校のうち、現状のお子様との偏差値周辺で「挑戦圏内」「合格圏内」「滑り止め圏内」で候補を挙げておくといえます。

### — 他にも、志望校選びで考えられるべきことは?

進学後、学習内容や部活、人間関係などの環境が大きく変わる上、通学時間まで変わります。通学はほぼ毎日のことなので、実際に志望校へ行ってみても良いです。また、学校の進学実績や就職実績も見ておきたいです。高校や大学が最終的なゴールではないので、できれば将来の目標などを一度考えさせて、逆算して学校選びをすることも重要です。また、学校や塾に相談もしてみましよう。

### — 学校の見学は行くべきでしょうか

学校見学は面倒くさがらず必ず行ってください。実際に入学してお子様に関わなかつ

たということもあります。雰囲気はHPやパンフレットでは分からないので、学校の説明会や見学に行くようにしてください。

— 最終的に受験する高校はどのように選べばよいのでしょうか

最終的には、志望校に対する学力も検討しなければいけません。その際、学校の成績表で計算する内申点が大きく関わってきます。計算の仕方は各都道府県によって異なり、試験への点数の加点方法も学校ごとに異なります。そして、その結果をもとに志望校の絞り込みを行い、模試の結果や実力テストの結果で最終的に絞り込んでいきます。